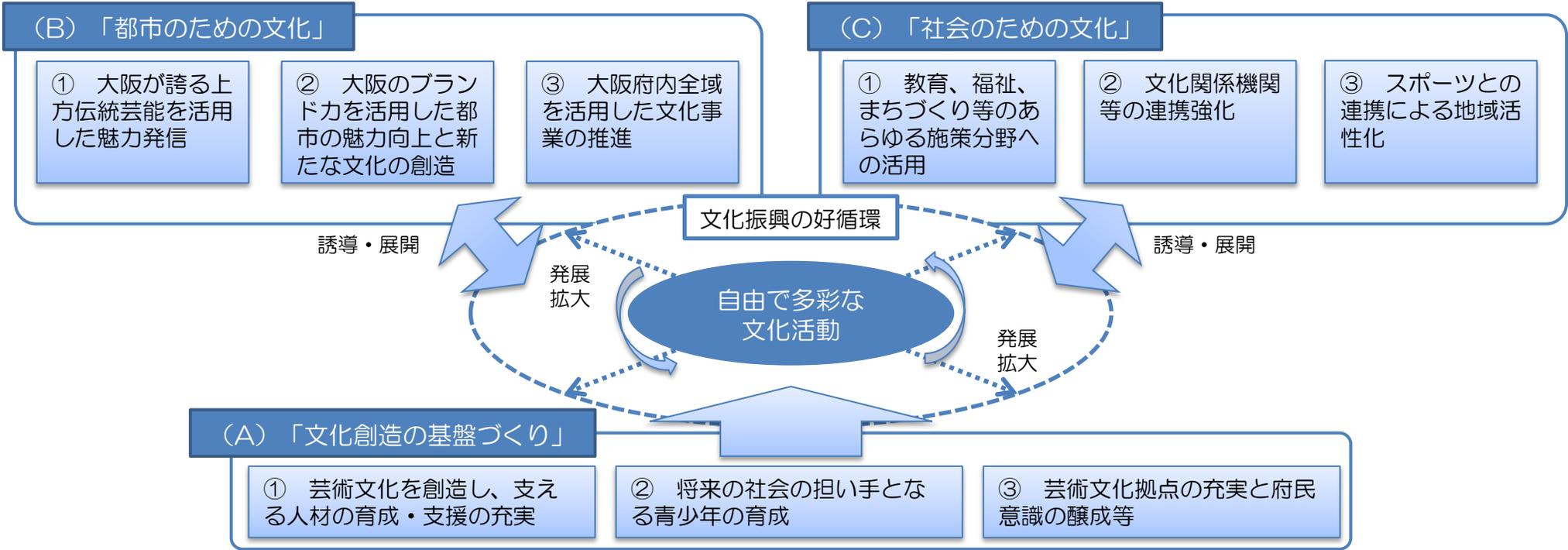
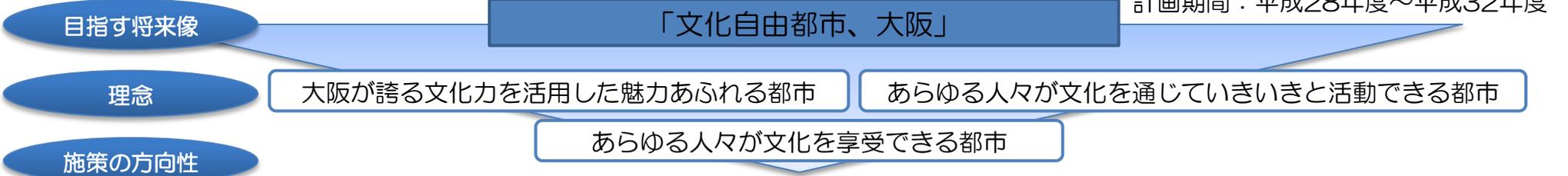


計画期間：平成28年度～平成32年度



2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組み

- ・“大阪ならではの”リーディング事業の展開
- ・府内全域での文化プログラムの推進等
- ・アーツカウンシルの活用

推進に向けて

【府の役割】	<ul style="list-style-type: none"> ・公益性が高いが収益性が低いため、民間では取り組むことが難しい文化創造の基盤づくりや地域課題の改善・解決等の領域を中心に担う ・公共空間を活用したプロジェクト等、モデル的な施策の展開 ・広域自治体としての総合調整
【評価・推進体制】	<ul style="list-style-type: none"> ・アーツカウンシルの運営体制の強化に取組み、企画調査機能を向上

・公益性が高いが収益性が低いため、民間では取り組むことが難しい文化創造の基盤づくりや地域課題の改善・解決等の領域を中心に担う

・公共空間を活用したプロジェクト等、モデル的な施策の展開

・広域自治体としての総合調整

・アーツカウンシルの運営体制の強化に取組み、企画調査機能を向上

「文化自由都市、大阪」

めざす将来像

理念

「大阪が誇る文化力を活用した魅力あふれる都市」

「あらゆる人々が文化を通じていきいきと活動できる都市」

施策の方向

「あらゆる人々が文化を享受できる都市」

B「都市のための文化」

①大阪が誇る上方伝統芸能を活用した魅力発信

②芸術文化の魅力、観光資源及び経済の活性化に活用

③都市全体を活用した文化活動の展開

C「社会のための文化」

①教育、福祉、まちづくり等あらゆる施策分野への活用

②地域の特色ある芸術文化活動への取組み・支援

作用

作用

循環

多彩な芸術文化活動
(産学等との連携)

循環

作用

A「文化創造の基盤づくり」

①芸術文化を創造する人材、支える人材の育成・支援の充実

②芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成

③芸術家等が活動に取り組みやすい環境の整備

④貴重な文化資源の保護・保存・継承

⑤芸術文化活動を支える寄附文化の醸成、普及

推進に向けて

大阪市の役割

- 文化施策を通じて、市民・アーティスト等の自主的な芸術文化活動が活発に行われるようサポートする
- 芸術文化の創造・活動基盤の整備、都市魅力の向上、市民等への情報発信

重点的に取り組む事項

- 大阪の芸術文化を発展させる人材の育成
- 評価・推進体制の強化(アーツカウンシル)
- 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組み